



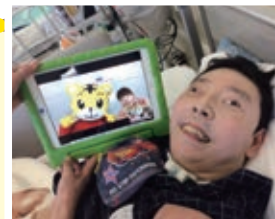
# 「しまじろう」がやってきた!!

1月20日(水)の14時~17時に「<しまじろう 病院訪問プロジェクト2020>いっしょに笑おう★【オンライン】キャラバン」と題し、しまじろうとお姉さんのMiniステージとグリーティング(病室訪問)をオンラインで開催しました。2病棟(小児病棟)・5病棟(重症心身障害病棟)・通所支援事業の総勢58名が参加しました。



しまじろうとお姉さんに一人ひとりの名前を呼んでもらい、一緒に手遊びをしました。とっても楽しい雰囲気の中での開催でしたので、終了後はしまじろうが画面からいなくなるのをジーっと見て「あ〜、あ〜。」と発声して泣きそうな表情の患者さんや、終わってしまうのが寂しくて泣いてしまう利用者さんがいました。また一方で、一緒にノリノリで踊っている患者さん、お姉さんに「〇〇さん」と名前を呼んでもらって「はい!!!」と元気

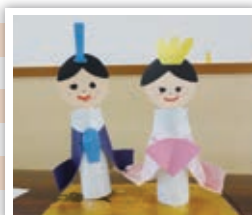
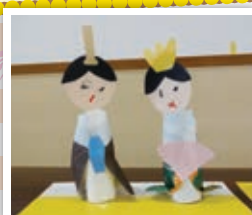
いっぱい手を挙げる患者さん…と、とってもさまざまな姿を見せてくれました。患者さん・利用者さんにとって、とっても素敵な機会になったと思います。



世間では現在もなお、さまざまなイベントが中止されています。しかし、対面での開催方法ではなくICTを活用して開催する機会が多くなっています。職員も始まる前は、「実物があるわけではないから…」と参加者がどのような姿を見せるのか心配していましたが、オンラインでの取り組みでも、十分に参加者の皆さんは楽しんでくださったように思います。ご協力くださったソニー生命・ベネッセコーポレーション共同プロジェクトの皆さま、本当にありがとうございました。

三重病院では、「コロナ禍の行事はダメ」ではなく、今後も感染予防に努めながら、さまざまな方法を駆使して楽しいイベントを計画していきたいと思えます。お楽しみに〜♪

## やまぼとキャラクター情報コーナー information



写・真・で・紹・介  
みにきてね!

## 異動のごあいさつ



●小児科 星 みゆき先生

(2021年3月31日付)  
2017年秋より三重病院でアレルギー疾患全般について勉強させて頂いておりましたが、2021年4月より岐阜県岐阜市の国立病院機構長良医療センター小児科に異動することになりました。当初は半年間の勉強期間の約束で、前任地の岐阜県総合医療センターや岐阜大学の医局から快く送り出して頂いたのですが、三重病院の居心地があまりによく、たくさんの先生方のご厚意により3年半まで延長して頂き、臨床はもちろん研究もたっぷりをご指導頂きました。三重県の皆様の人柄も気候も暖かいことにすっかり慣れてしまったので、岐阜県の冬の寒さや雪に耐えられるかが不安ですが、三重病院という非常に恵まれた環境で学ばせて頂いたことを岐阜に持ち帰って、少しでもお役に立てればと思っております。

今後とも週に1回は三重病院にひょっこりとお邪魔する予定です。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。3年半もの間、どうもありがとうございました。



●小児科 野上 和剛先生

(2021年3月31日付)  
北海道から国内留学として、2年間の三重病院での診療・研究を終え、今春から札幌医大付属病院小児科アレルギーチームの勤務が始まります。当院で得た経験・知識・ノウハウを、アレルギーのあまり盛んではない北海道に持ち帰り広める事が、今後の私の使命になります。アレルギーの専門診療・研究のために、今後も多くの先生が県外から来ます。三重病院で経験を積んだ同志がどんどん全国各地に広がり、三重病院を根っこにし、協力して専門的な診療・研究を展開できることは、大変心強く思います。

最後に、この2年間ご指導頂きました藤澤先生・長尾先生、切磋琢磨した仲間たち、お世話になった職員のみなさま、患者さんご家族のみなさま、誠にありがとうございました。いい仕事をして北の大地にも細き根を下ろしていくことが皆様への恩返しと考え、これから頑張ります。

